

営農ウィークリーNEWS

JA京都中央担い手生産者技術交流会 133 人の出席で盛大に開催



講演「組織で解決した事例いくつか」で組織のメリットを強調（荒木技術顧問）

JA京都中央は、1996年4月に13JAが広域合併し、本年20年を迎えました。

今回の交流会は、合併20周年を記念し、管内全域から各地域別の生産者組織・青壮年部の会員と担い手生産農家を対象に、相互の技術交流を図ることを目的として、7月26日、京都タワーホテルで開催されました。組合長の挨拶では、担い手の交流は、地域や個人経営の発展につながると強調されました。

限られた時間でしたが十分に交流が図れ、今後毎年開催することが確認され閉会しました。



主旨説明の挨拶 富阪裕一組合長



JA京都中央会中川会長の挨拶
文を披露いただいたJA京都中央会の大槻松平代表監事



管内を知り尽くしている
乙訓農業改良普及センター
一木村紀代美所長

—TAC information—

エリア担当への研修会実施!



秋冬野菜用の予約取り纏めを前に、JA 京都中央オススメ肥料の研修会を実施しました!

内容は、営農販売課技術顧問 荒木俊光氏より、オリジナル肥料「ふぁいとエース」を始め、各肥料のセールスポイントを重点的に行いました!

予約推進に向けて、準備万端です!!!



お越しいただいた来賓の方々



安平次均副組合長の発声で乾杯が行われ、懇親会が始まりました



管内のいろいろな地域の担い手の方がテーブルを囲み、情報交換に花が咲いていました



TACや生産資材の紹介コーナーでも情報提供



来年度も開催を誓った田村義明副組合長の閉会のあいさつ